

PRJ05_NR20002

報道関係者からのお問い合わせ
キーサイト・テクノロジー株式会社
広報担当 土肥（どひ）
電話：042-660-8589

お客様からのお問い合わせ
キーサイト・テクノロジー株式会社
計測お客様窓口
電話：0120-421-345

※このお知らせは、米国時間2020年2月12日にキーサイト・テクノロジーズ・インクが発表したニュースリリースを、キーサイト・テクノロジー株式会社が和訳・要約したものです。

2020年3月3日

キーサイトの調査により、セキュリティツールの有効性に対する セキュリティ担当者の過信が明らかに

**セキュリティオペレーションチームはセキュリティツールの仕組みを理解する上で
課題に直面しており、その結果データ侵害、脆弱性、時間と経費の無駄が発生**

カリフォルニア州サンタローザ、2020年2月12日発 – エンタープライズ、サービスプロバイダー、政府などのお客様がイノベーションを加速し、あらゆるものが安全につながる世界の実現を支援する、キーサイト・テクノロジーズ・インク（CEO：ロン・ネルセシアン、米国カリフォルニア州サンタローザ、NYSE：KEYS、日本法人：キーサイト・テクノロジー株式会社、以下「キーサイト」）は、「**Security Operations Effectiveness（セキュリティオペレーションの有効性）**」調査の結果を発表しました。この中で、回答者の50%がセキュリティ製品の1つ以上が期待どおりに機能しなかったためにセキュリティ侵害を経験したことがあると答えており、セキュリティ担当者がツールを過信していることが明らかになりました。

本調査では、セキュリティ担当者の半数あまり（57%）が、現在使っているセキュリティソリューションが意図通りに機能していると確信していることがわかりました。しかしながら、セキュリティ製品が期待どおりに設定され作動しているかを検証するテストを実施していると回答したのは、調査対象者の35%に留まります。この差を埋めるためには、内部からの侵害と外部からの攻撃を用いて自社のセキュリティ製品とセキュリティ体制を積極的にテストすることができるセキュリティテストソリューションが非常に有効であると、回答者の86%が考えています。

当社ネットワークアプリケーションおよびセキュリティグループ（旧イクシアソリューショングループ）、セキュリティソリューション部門のバイスプレジデントである Scott Register は次のように述べています。「企業は、ビジネスを脅かす絶え間ないサイバー攻撃に直面しており、多くの場合さらに多くのセキュリティツールを購入することで攻撃に対処しようとしています。しかしこれらの製品により期待するほどのセキュリティ保護が得られるかどうかは定かではありません。セキュリティツールが優れていても、それが正しく設定されていない、あるいはセキュリティチームのツール使用能力が欠如していると、セキュリティは破綻してしまいます。このような状況はツールの

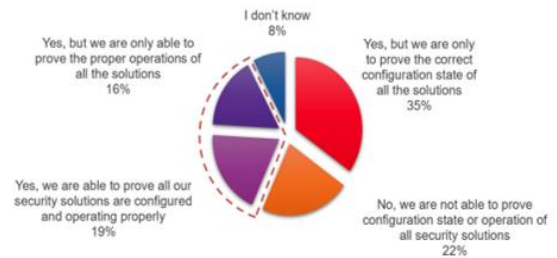
重複や過剰支出となり、組織のセキュリティ体制を脅かします。セキュリティソリューションの継続的なテストは、セキュリティが確保されているという根拠と自信だけでなく、リソース節約の機会も組織にもたらしめます。」

本調査では、次を含む内容が明らかになりました。

- **組織へのセキュリティ侵害は頻繁に生じている**：回答者の75%は会社がセキュリティ侵害（不正侵入、マルウェア、ハッキングなど）を経験したことがあると答えており、47%は過去3年間で3回以上の侵害を経験していると答えています。
- **優れたセキュリティツールであっても期待どおりに保護できるとは限らない**：回答者の50%は、侵害発生後にセキュリティソリューションが期待どおりに機能していないことが判明したと述べています。
- **多くの企業はセキュリティが正常に機能しているかどうかを検証していない**：セキュリティ製品が正しく設定され作動していることを証明する、テストベースの根拠があると答えた回答者は35%に留まります。
- **侵害対策を行っている組織は半数未満**：セキュリティインシデントの修復および対応方法を積極的に実践していると答えたのは、回答者の49%でした。
- **セキュリティ製品の機能の重複は時間と経費の無駄**：企業の66%は、機能の重複した複数のセキュリティソリューションを使っています。回答者の41%がこの重複は意図したものでないとしており、企業のセキュリティ体制の強化に結び付かず、予算や管理の時間が無駄になっています。
- **セキュリティテストの価値**：回答者の86%は、企業のセキュリティ体制の脆弱性を見つけ、修復できるソリューションを高く評価するだろうと回答しています。調査対象者の79%は、あるセキュリティ製品が有効でないことを証明できるのであれば、自社のインフラから該当セキュリティ製品を排除するだろうと答えています。

Only 35% Verify Their Security Solutions Are Defending Correctly

Does your company have proof which verifies that every security solution is configured correctly, and operating (defending) properly?



キーサイトは、2019年11月にこの調査の実施を Dimensional Research 社に委託しました。企業におけるセキュリティソリューションの戦略、設計、管理、運用を担うセキュリティ担当者合計307人に参加いただきました。調査参加者の拠点は全五大陸に渡っています。参加者の所属企業規模は、大規模（48%）、中規模（41%）、小規模（11%）です。

キーサイトの「**Security Operations Effectiveness (セキュリティオペレーションの有効性)**」に関する報告書で使用されている画像は以下からダウンロードできます。

<https://www.keysight.com/find/securityeffectivenessreport-images>

キーサイト・テクノロジーについて

キーサイト・テクノロジーは、エンタープライズ、サービスプロバイダー、政府などのお客様がイノベーションを加速し、あらゆるものが安全につながる世界を実現できるように支援しています。当社は、お客様がより迅速に低価格で市場導入できるように、設計シミュレーションから、プロトタイプ検証、製造テスト、ネットワークとクラウド環境の最適化などのソリューションを提供しています。当社のお客様は、世界各国の通信エコシステム、航空宇宙／防衛、自動車、エネルギー、半導体、一般電子機器エンドマーケットなど、多岐に渡っています。2019年度の売上高は、43億ドルでした。キーサイトについての詳細は、以下のウェブサイトをご覧ください。

www.keysight.co.jp